

# 森づきの最前線

日光森林管理署 日光森林事務所 首席森林官 益子 紀之



大谷川から日光表連山を望む



日光市民に大切に守られる太郎モミ

私の勤務している日光森林事務所は、栃木県の北西部に位置する日光市のうち、旧日光市の東部4,200畝の国有林を管理しています。

当事務所管内には、平成11年に世界文化遺産に登録された日光東照宮や日光山輪王寺等の建造物があり、それらを囲むように、日光表連山（西端から男体山、大真名子山、小真名子山、女峰山、東端の赤薙山）が連なり、その区域のほとんどは日光国立公園に指定されています。

日光東照宮の北東に位置する小倉山国有林には、小倉山森林公園があり、スケートやアイスホッケー等のスポーツ活動などに利用されているほか、修学旅行の野外活動や森林環境教育などにも利用され、多くの国民の皆様に親しまれています。

この周辺の森林は、スギ、ヒノキ、アカマツなどの針葉樹のほか、コナラなどの広葉樹が混在しており、多くの野鳥が集まることから、平成16年に日本野鳥の会栃木県支部と協定を締結し「小倉山野鳥の森」を設定しました。

この森を利用して、毎年「森林と野鳥に親しむつどい」を開催し、野鳥観察会や木工教室を行っています。

小倉山を訪れた人々を楽しませてくれるのは、野鳥のさえずりのほか、堂々たる風格で目を引く、樹高30㍎の大木「太郎モミ」です。平成12年「森の巨人たち百選」に認定され、3年後には日光市指定文化財として、日光市民の方々により大切に保護されています。

また、平成20年度には、「間伐モデル林」を設定し、列状間伐による林内植生への影響を調査しています。間伐箇所の林内を継続的に一定方向から写真撮影をするなどの方法により状況を確認してきたところ、下層植生の繁茂が見られるなど、列状間伐の効果が現れてきたところ です。

しかし、今年は春になっても植生が見られず、近年この地域でも増加しているシカ食害による影響ではないかと思われ、景観や環境への影響を考慮して、シカ食害防止柵の設置を試験的に実施することとしています。

赴任して10ヶ月余りですが、観光に訪れた方から「歩道の案内板が分かりにくい」との苦情や、地元からは、「裏の国有林が崩れた」などの相談にも応じています。海外から観光に訪れる人が多い当事務所管内の特徴も踏まえて、国際森林年の趣旨を理解いただきながら、日本のテーマである「森を歩く」を一人でも多くの方に楽しんでいただけるよう、PRに取り組んでいきたいと思 います。



『小倉山野鳥の森』間伐モデル林



森林と野鳥に親しむつどいの木工教室